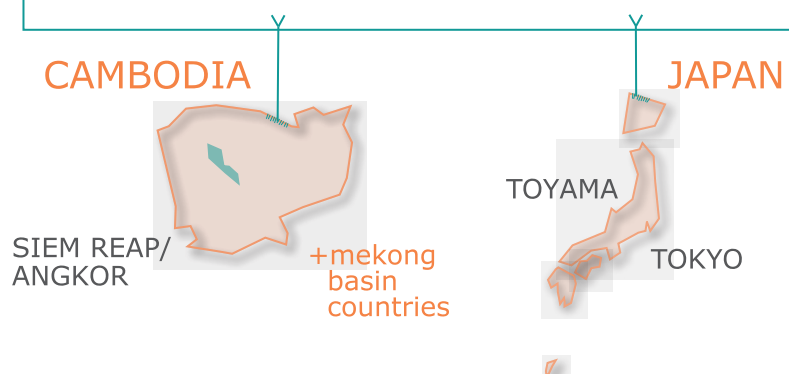


目次

2019 年度

GREEN WIND ASIA 活動報告



GWA とは／理事長・
中川武よりごあいさつ
..... 2

文化遺産を守る・伝え
る・育てる..... 2

2019 年度の活動報告
..... 3~5

2019 年度の収支報告
..... 6

2020 年度の活動・
収支計画..... 7

団体情報..... 7

G W A とは

近・現代におけるメコン川流域諸国は、経済発展を第一とした開発を優先させてきました。それは地域に対してバスに乗り遅れないための利益を生む一方で、背景では豊かな自然と伝統文化、それを象徴する文化遺産が失われつつあることも事実です。否応なく世界は変わっていくでしょう。しかし、気づいてみたら、いつの間にか、ではなく、しっかりと変化を見届けていたいと思います。

私は 1991 年からカンボジアの遺跡修復関係の活動を続けてきましたが、そのなかで伝統文化と自然を、地域の人々とともに大切にすることの意義を感じました。2005 年に、前身となるアンコールやまなみファンド（AYF）を設立し、遺跡周辺の小学生に修復活動を紹介したり、遺跡に隣接するアンコール・クラウ村にフリースクール「やまなみ塾」を建設したりと、地域の子どもたちの情操教育の支援や交流会を行ってきました。将来、カンボジアの子どもたちに地域の文化遺産を守ってほしい。GREEN WIND ASIA は今までの活動を引き継ぐため、2014 年に設立しました。

COVID-19 のパンデミックにより、世界中が困難な状況にあります。このような時だからこそ、互いに支え合えるような国際的協調の方法を、みなさんと考えていきたいと思っています。

東京都認証 NPO 法人
GREEN WIND ASIA
理事長 中川 武



文化遺産を

守る



日本とメコン川流域国にて、地域の文化遺産を保全する活動を行っています。

伝える



多くの市民の方に、各地の文化遺産に触れていただく機会を創出しています。

育てる



地域の文化遺産を、地域の方々に守っていただけるよう、教育支援を行っています。

2019年度の



活動報告

登録有形文化財「照田家住宅」の保全・管理

照田家住宅は、昭和 28（1953）年に建てられました。洋風の応接間をもつ和洋折衷型の住宅です。建具や欄間などの細部意匠が多様で、銘木も随所に用いられています。GWA では保全・管理のため、定期的に清掃にうかがったり、建築のみどころをまとめる活動を行っています。



↑建具のすべりを保つために、下枠に蟬(ロウ)を塗る作業風景。

→細部意匠のみどころのまとめ。



二階十畳の床の間
床柱は杉の紋付丸太、床板・落掛けは黒漆となっている。砂子蒔絵を施した天袋、地袋、そして襦はすべて連なる山脈の画題で統一され、雅な空間になっている。



二階十畳 内窓
富砂の意匠が施され、前面に木物の櫓の枝、欄干の意匠に竹、さらに松の彫刻を施すことで一箇所に松竹梅の趣を聚約している。



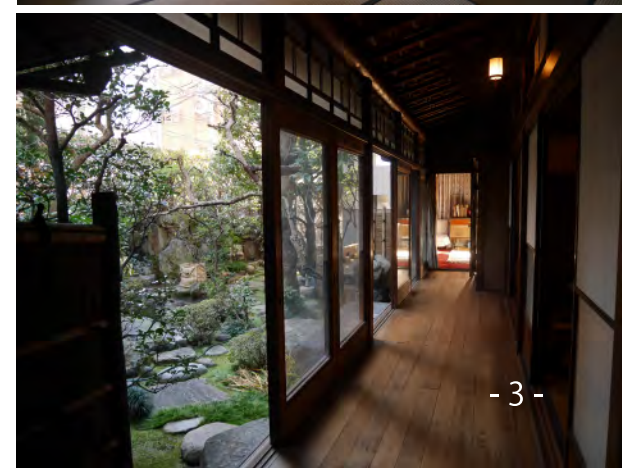
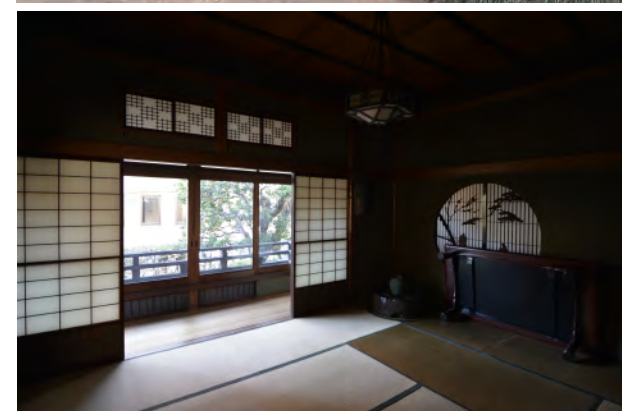
離れ

離れはもっとも意匠に凝った部屋で、床構えも他室とは大きく異なっている。床柱には梅材が用いられ、大きなコウモリ型の特徴的な窓が目を引く。



応接間

照田家は在来風住宅の要素を数多く持つが、応接間は洋風となっている。イタリア産大理石の暖炉や赤い絨毯が内部に配され、外壁には特徴的な装飾のされたスクラッチタイル壁張りといった洋風意匠になっている。なんとも趣向が凝らされた空間である。



2019年度の

伝える



活動報告

富山のまちあるきツアー

9月7日（土）に富山県高岡市周辺の文化遺産の見学ツアーを開催しました。



↑金屋町重伝建地区。

参加者 29名

見学場所

- ・高岡市金屋町の重要伝統的建造物群保存（重伝建）地区
- ・伝統構法石場建の現場
- ・高岡市守山町の重伝建地区
- ・重要文化財 菅野家住宅
- ・御車山会館
- ・富山銀行本店（辰野金吾設計）
- ・井上家住宅（昼食）
- ・重要文化財 勝興寺
- ・伏木気象資料館



↑勝興寺で記念写真。

←設計者の森本さんによる伝統構法の石場建の現場説明。



世界の文化遺産

アーカイブ事業

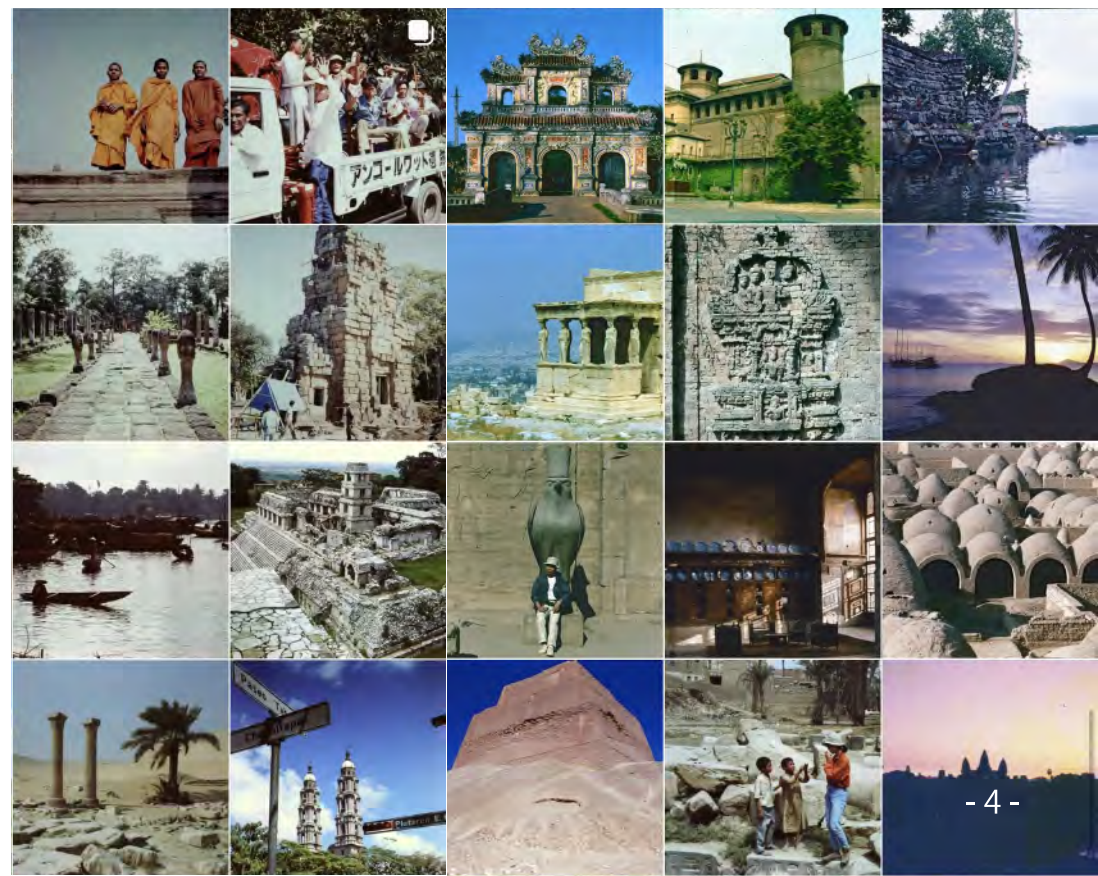
代表の中川武が30年間ほど世界各地で撮りためたフィルム写真を、デジタル化して、アーカイブしています。写真はウェブやSNSで発信中！（ウェブやSNSのURLは、p.7 団体情報をご参照ください。）

厳選した写真はフォトブックにまとめていく予定です。



↑デジタル化の作業風景。

↓今年度にデジタル化したアーカイブ写真の一部。



2019年度の

育てる



活動報告

シェムリアップの 住民向け防災ワークショップ

8月24日（月）に、カンボジアのシェムリアップにて、地域住民の方々と一緒に防災ワークショップを開催しました（主催：シェムリアップ州政府+早稲田大学長谷見研究室・小岩研究室）。

シェムリアップはアンコール遺跡観光のための拠点地域です。遺跡を守る活動とともに、周辺地域の発展を考える活動を支援しています。



←開催ポスター（クメール語版もあります）。

↓参加者した地域の方々。



バイヨン寺院での写生大会

11月22日（金）にカンボジアのバイヨン寺院にて、アンコール・クラウ村の小学校（Nokor Krau primary school）と共同で写生大会を開催しました。

30名の子どもたちが参加。日本国政府アンコール遺跡救済チーム（JASA）の修復専門家やプノンペンで建築を学ぶ大学生の指導のもと、思いおもいに遺跡をスケッチしました。



→とても真剣に、バイヨンの石積みや装飾を描く子どもたち。画板は遺跡修復チーム（JASA）のスタッフたちが手作りしました！



←スケッチ後の講評会にて。代表・中川より全員に参加賞を手渡ししました。



→お手本は、プノンペンで建築を学ぶ Vichika さん。



2019年度の

育てる



活動報告



↑「やまなみ塾」の校舎。

→子どもたちの作品。

バイヨン寺院での写生大会（つづき）

GWA では、アンコール・クラウ村の子どもたちへの教育支援を行っています。2005 年に「やまなみ塾」を設立し、フリースクールの運営支援を継続しています。現在、小学校の先生方と今後の活動を検討中です！



↑参加した Nokor Krau primary school の子どもたち。



2019年度の

収支報告

2019年度の収支報告を、以下のとおりにご報告いたします。

貸借対照表

科目		金額		
Ⅰ 資産の部	1 流動資産			
	現金預金	¥605,206		
	未収金	¥11,500		
	流動資産合計			¥616,706
	2 固定資産	¥0		
Ⅱ 負債の部	1 流動負債	¥0		
	2 固定負債	¥0		
Ⅲ 正味財産の部	前期繰越正味財産額		¥307,038	
	当期正味財産増減額		¥309,668	
	正味財産合計			¥616,706
	負債及び正味財産合計			¥616,706

収支決算書

科目		予算額	決算額	増減
Ⅰ 経常収益	1 会費	¥160,000	¥190,000	¥30,000
	2 受託事業収益	¥550,000	¥516,500	¥-33,500
	3 協賛金	¥500,000	¥450,000	¥-50,000
	4 寄付金	¥100,000	¥92,000	¥-8,000
	5 利息	¥1	¥3	¥2
経常収益計		¥1,310,001	¥1,248,503	¥-61,498
Ⅱ 経常費用	1 事業費			
	「照田家住宅」維持管理	¥510,000	¥509,600	¥-400
	「やまなみ塾」協力金	¥280,000	¥296,541	¥16,541
	バイヨン寺院写生大会	¥300,000	¥40,458	¥-259,542
	上記運営協力謝礼	¥50,000	¥21,938	¥-28,062
	見学会実費	¥40,000	¥53,640	¥13,640
	会議費	¥5,000	¥3,000	¥-2,000
	広報・印刷製本費	¥40,000	¥3,604	¥-36,396
	2 管理費			
	経理・事務謝礼	¥20,000	¥0	¥-20,000
	ウェブ更新費	¥20,000	¥4,795	¥-15,205
	消耗品費	¥10,000	¥3,481	¥-6,519
	通信運搬費	¥20,000	¥1,438	¥-18,562
	旅費交通費	¥8,000	¥340	¥-7,660
経常費用計		¥1,303,000	¥938,835	¥-364,165
当期経常増減額		¥7,001	¥309,668	¥302,667
Ⅲ 経常外収益		¥0	¥0	¥0
当期正味財産増減額		-	¥309,668	-
前期繰越正味財産額		-	¥307,038	-
次期繰越正味財産額		-	¥616,706	-

2020年度の

活動・収支計画



2019 年度に引き続き、以下の活動を実施してまいります。

・「照田家住宅」維持管理



・世界の文化遺産アーカイブ事業
・建築ツアー、遺跡修復現場見学

*COVID-19 により通常のツアー開催は延期の可能性あり。



・「やまなみ塾」の運営支援
・アンコール・クラウ村の小学生向け教育支援

収支計画書

科目		金額
Ⅰ 収入 の部	1 会費	¥200,000
	2 受託事業収益	¥510,000
	3 協賛金	¥400,000
	4 寄付金	¥100,000
	5 利息	¥1
	収入計	¥1,210,001
Ⅱ 支出 の部	1 事業費	
	「照田家住宅」維持管理	¥510,000
	「やまなみ塾」協力金	¥400,000
	見学会開催実費	¥100,000
	運営協力謝礼	¥50,000
	会議費	¥10,000
	広報・印刷製本費	¥50,000
	2 管理費	
	ウェブ更新費	¥20,000
	消耗品費	¥10,000
	通信運搬費	¥10,000
	旅費交通費	¥5,000
	支出計	¥1,165,000
当期正味財産増減額		¥45,001
前期繰越正味財産額		¥616,706
次期繰越正味財産額		¥661,707

団体情報

東京都認証 NPO 法人
GREEN WIND ASIA

設立 2014 年 12 月 1 日
会員 95 名 (2020 年 4 月現在)

事業の種類

(1) 文化財保護の重要性に関する一般市民への啓発事業
(2) 一般市民および専門家の交流と相互理解の促進事業
(3) 保存修復技術専門家の教育支援事業
(4) 文化遺産周辺地域の教育支援事業

役員

理事長／中川武
副理事長／木谷建太
副理事長／黒岩千尋
理事／岡田寛
理事／山岡直子
監事／小岩正樹
名誉顧問／多賀正夫

事務局

石井由佳 萩原安寿 黒岩千尋

E-mail

info.greenwindasia@gmail.com

Web <http://greenwindasia.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/greenwindasia/>

Instagram gwa_nakagawatakeshi